

令和5年度 ボランティア・市民活動フォーラム 開催要項

協働型災害ボランティアセンターの運営～災害多発の時代。今こそ官民の連携・協働を！～

1 趣旨

災害時のボランティア活動は、泥出しや災害ゴミの撤去などの活動が目立ちますが、活動の本来の目的は、生活基盤の住環境を回復し、被災した人の生活を回復することにあります。そのため、災害ボランティアセンターは、生活支援という福祉の視点を持ちながら被災者に寄り添い、日々の生活支援と生活再建に向けた困りごとの解決に取り組むことが求められています。

しかし、昨今の本県における大雨被害にもみられるよう、被災者支援の現場では一般のボランティアでは取り組むことが難しいニーズが多発しています。被災された方の円滑な生活再建のためには、技術系 NPO などをはじめとした、地域における多様な団体との連携が必要であり、協働型災害ボランティアセンターがますます重要性を増してきています。

そこで、本フォーラムでは協働型災害ボランティアセンターについて学び、ボランティア・NPO、行政や関係機関・団体と協働しながら取り組むことへの理解を目的として開催します。

2 主催

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

3 日時

令和6年1月31日(水)10時から15時30分(午前 9時30分から受付開始)

4 会場

水戸市民会館 大会議室(水戸市泉町1丁目7番1号)

5 参加対象者

市町村社会福祉協議会役職員、市町村職員、NPO、NGO の関係者、ボランティア・市民活動実践者
その他関心のある方

6 定員及び参加費

定員150名 参加費 無料

7 参加申込

令和6年1月19日(金)までに下記 URL (Google フォーム)からお申し込みください。

なお、団体(5名以上)で参加をご希望の場合は、別途事務局(029-243-3805)まで御相談ください。

グーグルフォームURL: <https://forms.gle/npTGaQ1a9MfRTstK7> QRコード



- ・定員になり次第締め切りいたします。本会から連絡がない場合は、参加可能と御判断ください。
- ・申込書から、氏名、所属を掲載する受講者名簿を作成して当日配布します。

8 個人情報保護

申し込みに係る個人情報は、本事業のみの目的で使用し、適正に管理します。

9 内 容

時 間	内 容
9:30～	受付開始
10:00～10:10	開会・挨拶
10:10～10:30	基調報告「茨城県社協における災害時支援に関する報告(仮)」 報告者:茨城県社会福祉協議会
10:30～12:00	記念講演「協働型災害ボランティアセンターの運営(仮)」 講師:特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田 暢之 氏 昨今多発している水害での支援では、一般のボランティアでは受けるのが難しいと判断されるニーズが増えてきています。これらのニーズに対応し、被災された方の生活再建を進めていくうえでは、プロボノをはじめとしたNPO等の連携が必要です。本講演では、他団体との協働型災害ボランティアセンターの運営について学んでいきます。
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～13:30	特別講演 赤プル氏による防災に関する講話 講師:赤プル 氏 防災士・整理収納アドバイザーの資格と併せて、市民・主婦目線で防災の考え方を伝える活動を積極的に続けています。本講演では楽しく防災の知識を学んでいきます。
13:30～15:30	シンポジウム 「災害ボランティアセンター活動報告～経験者から学び、次に活かす～」 コーディネーター:栗田 暢之 氏 報告者 ○日立社会福祉協議会 ○高萩市社会福祉協議会 ○北茨城市社会福祉協議会 ○取手市社会福祉協議会 令和5年度に水害の被害を受け、実際に災害ボランティアセンターを立ち上げた4市の社協から災害ボラセンの活動報告をしていただき、その後、意見交換を行います。実際に災害ボラセンを立ち上げた経験者の報告や意見交換から、次の災害に備えるためのヒントを学んでいきます。
15:30	閉会

10 講師紹介

○記念講演

栗田暢之／くりたのぶゆき 氏 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事

1995年阪神・淡路大震災時に当時勤務していた大学の学生ら延べ1,500名のコーディネーターとして被災者支援にあたったことを契機に、同年7月に設立したボランティア団体「震災から学ぶボランティアネットの会」の事務局長に就任。2002年3月に同会を発展的に解消して「特定非営利活動法人レスキューストックヤード」が認証され、同法人の常務理事兼事務局長を経て現在に至る。現在までに50箇所以上の地震・水害・噴火等の被災地で支援活動を行う一方、災害に強いまちづくりや人づくりの各種事業にも多く携わる。

また国や自治体などの防災や災害ボランティア等に関する各種委員会の委員も歴任。2000年東海豪雨水害「愛知・名古屋水害ボランティア本部」の本部長、2016年11月に設立した「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク」代表理事も務める。また、コロナ禍における諸課題に対して、多様なセクター間で支え合うことを目的とした「NPO おたがいさま会議」を創設し、コーディネーターも務める。

○特別講話

赤プル／あかぷる 氏 芸人・防災士

茨城県結城郡石下町(現在の常総市)出身。2003年デビュー。茨城弁で、茨城県のあるあるや自虐ネタを漫談で披露し、「爆笑レッドカーペット(フジテレビ)」や「エンタの神様(日本テレビ)」などテレビ、ラジオ多くの番組に出演。

「平成27年関東・東北豪雨」の体験を機に、2017年に防災士の認定を受ける。整理収納アドバイザーの資格と併せて、市民・主婦目線で防災の考え方を伝える活動を積極的に続けている。

11 会場アクセス



お車でお越しの場合は、近隣・周辺の駐車場をご利用ください。(HP <https://www.mito-hall.jp/access/>)
 なお、**駐車料金については、参加者負担**となります。何卒、御了承いただきますようお願い申し上げます。
 近隣の市営駐車場(有料)

五軒町立体駐車場(水戸芸術館東側)283台 五軒町地下駐車場(水戸芸術館地下)217台
 周辺の有料駐車場(500m圏内に約4,500台)

12 問い合わせ

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 福祉のまちづくり推進部(担当:酒葉)
 〒310-8586 水戸市千波町1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館2階
 TEL:029-243-3805 E-mail:sakaba@ibaraki-welfare.or.jp

※ 当日の朝に検温、体調チェックを行い、体調不良の場合は参加を見合わせてください。

この事業は共同募金会配分金を使用して実施しています。

